

令和元年度 白田中学校グランドデザイン

学校教育目標「信頼される人になる」

- 1 疑問を大切にし、学力を身につけよう。(知育)
- 2 優しさを大切に、思いやりの心を育てよう。(徳育)
- 3 継続を大切に、強い心と体をつくろう。(体育)

学校教育理念

「桃李不言下自成蹊」の精神
桃李は言わず下に自ずと蹊を成す(史記)

⇒人望・信頼のある人には、自然と人が集まる、の意

生徒の実態 ◎ 良い点・更に伸ばしたい点

- 素直で気持ちが安定して生活できる。
- 落ち着いた雰囲気の中でよく聞くことを通した個人追究ができる。
- 自分の考えを、堂々と筋道を立てて述べる表現力。
- 友と関わり合う中で学習を深めていくコミュニケーション能力。

教育課題

- ・家庭問題に起因する生徒の心の問題への支援
- ・基礎的な学力を確実に身につけさせる指導
- ・生徒が自信と自己肯定感をもち、楽しいと思える学校づくり

めざす学校像

- ◎「あいさつの響く学校」
- ◎「学習力を高める学校」
- ◎「表現力を高める学校」
- ◎「地域との連携を深める学校」

めざす生徒像

- ・基礎基本を大切に自ら学ぶ・共に学ぶ、学び方を学ぶ生徒
- ・思いやり、人間関係力、自らの感性を磨く生徒
- ・鍛錬、健康学習、食育推進を生かせる生徒

目標達成のための3つの柱

1 教科・領域の指導

～各教科～

- ①教材研究や授業構想(例:白中プラン)に基づいた工夫改善
- ②「ねらい めりはり みとどけ」を意識した授業づくり
- ③全ての子どもへの学力の保障

～特別の教科 道徳～

- ①考える場面、議論する場面を念頭に入れた授業構想
- ②その子の「よさ」の変容に着目した評価

～総合的な学習の時間・特別活動～

- ①学年会で新たな発想のもとに活動を一層充実させる。
- ②「地域に学ぶ」スタンスを大切にしていく

2 生徒指導(学級経営)

- ①生徒の思いを受け止め、生徒に寄り添うきめ細かな指導観の確立

- ②当たり前のできることを見逃さず、温かな評価を生かす人間関係力の育成

- ③「場を清め 時を守り 命を正す」を軸にした生徒指導の充実

- ④歌声を響かせることによる、共に創ることのよさ、達成感の感得

- ⑤全職員で支える配慮生への支援体制の充実

3 生徒会・部活動・行事等

- ①生徒会の取り組みを全体で共有し合い、達成感・成就感を味わえる温かな指導

- ②全職員で支援体制を組み仲間との支え合いの素晴らしさ感得させたり、忍耐力を育てたりする部活動指導

- ③学級や学年を含めた様々な行事や奉仕活動等での学びを生活作りに生かす指導

3つの柱に向けた日常の実践としてのポイント

①学級経営の充実

- ・一人一人が安心して生活できる学級集団
- ・自主的、実践的な学級集団
- ・個の理解の充実
- ・不登校生徒への対応
- ・学年や学級を越えた集団指導体制の充実

②生命の尊重と、正しい人権感覚の育成

- ・いじめ、差別、いやがらせ、暴力を許さない学校
- ・人権感覚の錬磨(教師自身からの研修)
- ・一人で抱え込まず、情報の流れをよくし、早めに対応、協力して解決

③OJTをふまえた職員研修

- ・日常の授業の工夫、授業を見合って学ぶ
- ・生徒の姿を通して、育ちを問い合う校内研究会
- ・生徒理解と指導方法を探る研修

④家庭・保護者・地域との連携

- ・外に開かれた学校(学校便り、ホームページ)
- ・白田中CSとの連携
- ・生徒会や部活動を通して地域との交流
- ・地域の人材活用
- ・小学校や白田地区PTAとの連携

⑤健康・安全教育、食育の推進

- ・学年、学級に相応する性教育の充実
- ・給食週間を活用した食育の推進
- ・安全管理の啓発
- ・交通安全に対する意識の向上
- ・部活と怪我予防を結び付けた怪我予防週間の推進

全校研究テーマ 「自ら学び、友と協働しながら基礎・基本を習得していく生徒の育成」
～すべての生徒が分かる・できるを実感できる授業を目指して(一年次)～

研究の重点

- (1)友とのかかわり (2)伝える力

【具体的な取り組み】

- ① グループ活動で、友とのかかわりを大切にした学習形態づくり
→課題に対して対等に語り合い、互いの考えを共有できる人間関係
- ② 自分の考えを明確化し、相手に伝わるように説明する場面づくり →授業展開の工夫
- ③ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業

【学力向上プラン】

- (1) 授業改善や学力向上を目指した重点的な取組
・上記の研究テーマの具現化を見合い評価し合う場の設定(職員会等)
- (2) 授業改善や学力向上を評価する検証方法
・CRT標準検査を行い、2、3年においては全国平均との比較が昨年より高くなるようにする。
・生徒による授業評価のうち、まとめが「よくできている」と回答する生徒の割合を8割に近づける。
- (3) 教職員の指導力向上のための研修
・授業のもっとよくなる3観点や、ユニバーサルデザインを取り入れた授業を見合う場をつくる(一人一公開)。

教師としての心構え

教育とは不完全な教師が不完全な子どもを導くこと
子どもを意のままに動かすことを恐れよ (教育学者 上田 薫先生の言葉)

ふりかえる

- ① 生徒、保護者、コミュニティスクール推進委員、職員による学校評価、生徒による授業評価
- ② 主事を交えたミニ授業研究会、研究のふりかえり等による評価
- ③ 全国学力・学習状況調査・CRT、定期テストによる評価

